

第6学年2組 Qタイム（総合的な学習の時間）活動案

平成18年6月22日
寒河江市立南部小学校
第6学年2組 31名
指導者 鈴木 伸治

1 題材名 インターネットのルールとマナーを知ろう

～ 情報モラルの育成 ～

2 子どもの実態

本学級の子どもは男子15名、女子16名の計31名。第5学年時から現在まで、コンピュータは、主に次のような学習で使用してきた。

【子どもが使用】

- 国語・算数・・・ネットワーク配信コンテンツ（漢字パーク、計算ドリル）
- 社会・・・各種産業の調べ学習（米、自動車）
- 図工・・・ぱらぱらマンガ（フリーソフト使用）
- Qタイム・・・ネットワーク配信コンテンツ（英語「ABCアドベンチャー」）

【指導者が使用⇒資料提示（プロジェクタ投影による活用）】

- 国語・・・敬語の使い方（自作教材、パワーポイント）
- 算数・・・面積（平行四辺形、三角形、台形、ひし形、円）の求め方
- 体育・・・走り幅跳び・走り高跳びのクリップ動画
- 道徳・・・各種題材に応じた自作資料提示（パワーポイント）

こうした学習経験を積んできたところ、全員がコンピュータを活用する学習に興味関心が高く、またその有用性もとらえていると感じている。また、各家庭においてもほとんどの子どもが、学習やゲームで利用した経験を持つ実態である。

3 題材の持つ重要性和指導者の願い

ICT活用もしくは教育の情報化といわれて久しいが、授業の中で、どのようにITを活用していくかのイメージがどの学校においても課題になっているのではないだろうか。

なぜ、なかなか教育の情報化が進まないのか。それは、情報機器の未整備により、授業（学習）のなかで気軽にITを活用していくことができないという物的な環境側面だけでなく、明らかにITを活用したほうが学習効率のあがるであろう内容に、指導者が意識的に取り組もうとしない（もしくはイメージが沸かない）人的な環境側面等が複雑に絡み合っているためととらえている。

費用対効果を求める行政予算へ警告を鳴らしつつも、今ある機器を最大限活用していくこと、そして同時に、個人的には、それらの機器を操作する人としてのルールやマナー（情報モラル）の指導が重要ととらえている。

いわゆる研究指定校（テストベッドモデル）の実践は、それはそれで学ぶべき点はあるが、どの学校でも、そうした研究校と同じような学習環境（情報機器等）で、授業を行えるはずがない。

今私たちに求められているのは、例えば、すでに私たちの生活の身近になったデジタルカメラなどを学習の中で積極的に活用していったり、携帯電話やインターネットを取り扱う際の、人として望ま

れる道徳的側面（ルールやマナー）などを指導したりしなければならぬのではないだろうか。特に後者は、教育の中でも不易流行の部分である。最新の情報機器を活用する（もちろん最新であることにこしたことはないのだが）術よりも、それを扱う人としての道徳性を高めることで、犯罪をふせいだり巻き込まれたりしない「心」の部分を育てていかなければならない。それは、ナイフは危ないから使わせないのではなく、安全な使い方を学習するのと同じことであろう。

また、子どもの実態から、主にコンピュータを使用するパーセンテージが高いのが、各種教科における調べ学習である。その際、検索エンジンを使用し目的の内容を検索しているわけだが、ホームページ等にならされている内容を鵜呑みにし、そのまま丸写しにしたり、また、目的とは程遠いばかりか、怪しいサイトにアクセスし、教師に援助を求めたりしてくる子どもも多かった。学校では「フィルタリングをかけている」とはいうものの完全ではないし、各家庭においても、コンピュータを利用している状況を鑑みて、今後ホームページの閲覧や検索において、そのルールやマナー、いわゆる「情報モラル」を殊更指導していく必要性を感じ、本題材を設定したところである。

4 本時の展開案

(1) ねらい

- ・インターネットの便利さと相反して、ホームページの内容がそのまま正しくないことや不必要に個人情報を発信したりしないことを知る。

(2) 展開の工夫

- ・初めにインターネットの有用性について話し合い、その後、ホームページを閲覧するときに注意すべき内容を、アニメで知る。（指導者側からの資料提示）
その後、子ども側の端末で、各自、実際に擬似サイトを体験する。

参考(活用)サイト

- ◎「ネット社会の歩き方」 財団法人コンピュータ教育開発センター
<http://www.cec.or.jp/net-walk/>
- ◎「スクールオンライン for キッズ」 ベネッセコーポレーション
<http://www.teacher.ne.jp/school/index.html>

使用する情報機器

- ・指導者資料提示用ノートパソコン
- ・投影型液晶プロジェクター
- ・スマートボード（電子白板）
- ・児童用端末デスクトップパソコン



(3) 活動の展開

| 子どもの活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|
| <p>1 インターネットは便利か不便かをミニ討議する。</p> <ul style="list-style-type: none">・何か調べる時に便利だ・すぐに知りたい情報を得られる・コンピュータがないとインターネットできないから本のほうがよい | <ul style="list-style-type: none">・国語の「学習討論会をしよう」を想起させ、各自の考えを発表させる。 |
| <p>インターネットを利用するときのルールとマナーを知ろう</p> | |
| <p>2 インターネットを利用する時に気をつけることをアニメで知る。</p> <ul style="list-style-type: none">・こういうホームページもあるんだ。気をつけよう。・似たようなサイトにであったことがある。 | <ul style="list-style-type: none">・「ネット社会の歩き方」から ①こんな Web サイトに気をつけて ②危険な情報に注意 のアニメーションをプロジェクターで資料提示する。 |
| <p>3 信頼できるサイトかそうでないかを擬似サイトで体験する。</p> <div data-bbox="221 1106 659 1563" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・温暖化と北極の氷・はむはむの森を守る会・酸性雨から身を守ろう・木を育てる協力者募集・今地球で起きていること ～オゾン層の破壊～・オーロラを見に行こう！・ぼくのスズムシ観察日記・ようこそペンギンクラブへ</div> | <ul style="list-style-type: none">・児童端末機より、「スクールオンライン for きっず」サイトの、はむはむホームページを閲覧させる。 その際、信頼できる、もしくは良いサイトかどうかを判断させるために、記入シートを準備する。 |
| <p>4 今日学習してわかったこと、感想をまとめる</p> | <ul style="list-style-type: none">・本校サーバの共有フォルダの自分のノート（ウィンドウズ標準のメモ帳を使用）に、今日の学習をまとめさせる。 <div data-bbox="671 1800 1422 1973" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・インターネットの便利さと相反して、ホームページの内容がそのまま正しくないことや不必要に個人情報を発信したりしないことがわかったか。</div> |